

来年度からは、ぶどう栽培学習は3年生の内容とし、4年生は早池峰山愛護少年団の活動が中心となります。今年度はその移行期のため、3年生と4年生と一緒に作業することとしました。

さきがけ

岩手日日新聞6月18日号
(掲載許可を得ています)

令和4年6月20日
R4-号外3
花巻市立大迫小学校
0198-48-2226

3, 4年生のみ配付

【社 会】

(第3種郵便物認可)

岩



ブドウのつる切りなどに取り組む大迫小の児童

花巻

花巻市大迫町の大迫小学校(宮川琢夫校長、児童115人)によるブドウ栽培体験は17日、同校で行われた。3、4年生が校庭に植えられているブドウの余分なつるを切り落とすなどして、大きく成長するように願った。

同校では地元住民で組織する大迫小ブドウめげな会から

剪定する「副穂切り」と余分なつるを落とす「つる切り」を体験。グループに分かれ、会員から余分な副穂とつるの見分け方を教えてもらいながら、はさみで手際よく切り取っていた。

今後は袋掛けなども体験し、9月に収穫する予定。自宅でもブドウ栽培をしているという佐藤菜々子さん(4年)

つる切り手際よく

大迫小 3、4年生 ブドウ栽培体験

指導を受け、児童がブドウ栽培について学習。校庭のブドウ畑ではナイアガラ、キャンベル、スチューベンなどの品種が育てられている。

これまでは4年生を対象に行っていたが、今回は初めて3、4年生合同で実施。同会の鈴木寛太会長(30)ら会員7人が指導を務め、児童42人で作業に当たった。

児童たちはブドウの副穂を

は「家で収穫はやったことがあるけど、きょうの作業は初めて。やり方が分かったので、家でも手伝うようにしたい」と話していた。

鈴木会長は「校庭にブドウが栽培されている学校なんて珍しい。貴重な体験ができていることを大人になっても忘れないでほしい」と願っていた。